



# 浜っ子

発行 カトリック浜寺教会  
高石市羽衣 2-2-27  
TEL 072-261-1563  
FAX 072-261-1594

2024年1月号 (2023.12.31 発行)

## 主の御降誕と新年のお慶びを申し上げます。

新しい年は、どんな一年にしましょうか？ 色々と思い巡らせながら、年末の片付けをしました。体調を崩された方も多かったと聞きます。気候変動に、感染症に負けない身体を作って、充実した新年にしたいものです。手洗い・うがいも忘れずに。さらに、一日も早く世界の悲しい戦いが終わりますように。人々が安心して生活ができる世の中になりますように、お祈りを続けたいと思います。周りの環境を考慮しつつ、マスク着用の判断をしてください。感染対策へのご協力 いつもありがとうございます。

いつくしみとまことが巡り会い、  
正義と平和が実現されますように

村田 稔 神父



明けましておめでとうございます。

皆様一人一人に心からの喜びを申し上げます。

昨年を振り返った時、某球団のリーグ優勝・シリーズ優勝以外は

悪い出来事しか起こらなかったように思えます。その最たるものは各地での戦争や人々の争いです。

その結果あまりにも沢山の人の尊い命が奪われ、傷を受けました。また、生活の場を

避難生活を虐げられています。その原因は色々あるでしょうが、わたしたち一人一人・わたしたちの国の

わがまま自分中心的な判断・行動が基本的な原因だと思います。各人が自分の思い、自分の正しさを

主張し、その獲得へと行動を起こす時、他人の思いや正しさが否定されるのです。

一方、世の中にはあまりにも不条理な事が多く、正義の実現をめざす強い働きも必要です。

詩編85には次のようなメッセージがあります。

「いつくしみとまことは巡り会い、正義と平和はいだきあう、正義は神の前を歩み平和はその足跡に  
従う。」正義が実践されないところに、平和は実現しないという事です。大切なのはわたしの正義・わたし  
の国の正義の実践ではなく、「心を神に向ける人」の正義の実現であり、神の正義の実現です。

いつくしみとまことが巡り合うとき正義と平和が実現されるのです。どんな人であろうとも、一人一人が  
神様から創られた大切な存在である事を受け入れる事によって、国籍・人種・言語・習慣・宗教の違いに  
よる争いを乗り越えることができるのです。

自分も大切だけど、他人も同じように大切だよ！

もっともっと違いが受け入れる年でありますように！

神様のいつくしみに導かれ、心豊かな年でありますように！

いつくしみとまことが巡り会い、正義と平和が実現される年でありますように！

関わりましょう。 祈りましょう。

## <いずみブロック待降節黙想会 11月26日(岸和田にて)>

2023年11月26日(日)岸和田教会にて、松浦信行神父様(梅田教会)を講師にお招きして、いずみブロック待降節黙想会が午前11時より午後3時まで開かれました。



テーマは、「道をととのえる～マルコ1:1～8」です。

午前の部は聖書朗読から始まり、個人黙想に続く第一講話で、絵本やささまざまな例をひもときながら、待降節において私たちが主の道をととのえる第一歩として、

- ① 祈りの中で神と共にいるという感覚を深めていく
- ② 祈りにおいて神を意識する
- ③ 頭で考えるのではなく、心の奥底へ沈み込んでいく祈りを心がけて、たくさん祈るのではなく、生活リズムの中に祈りのリズムを取り入れていく

大切さを、弁論部ご出身の大きなよく通る声で説かれました。

午後からの部は15分間の個人黙想で始まり、第二講話では、主の道をととのえることはいのちを感じることであり、一人ひとりが他者とつながっているいのちを持っていること、その人らしく生きていくいのちを持っていることを認識することが大切で、そのためには信仰を深めて私たちの感性を磨いていく必要があります、その結果、見えないものが見えてくるようになると締めくくられました。その後グループに分かれて分かち合いがもたれ、今日の体験を通してのさまざまな思いを、皆さんで語り合いました。



## <<洗礼おめでとうございます 12月10日>>

聖ホセ・マリア <sup>やまぐち</sup> 山口 <sup>はるた</sup> 晴太 くん (10ヶ月)



泣くこともなく、ぐずることもなく…  
じっと神父様を見つめ、ろうそくに  
興味を持ち、澄んだ瞳には、何が  
うつっていたのでしょうか？

将来は大物かな？周りの人々を  
しあわせにしてくれるかわいい天使ちゃんでした。

神さまの愛に包まれて、健康で、すくすくと成長されますように、お祈りします。



## <<イポルト神父さま快気祝いと叙階7周年記念祝賀会>>

12月10日(日)、ポルトガル語ミサの後、信徒会館でイポルト神父さまの足のけがの快気祝いと、日本に着任叙階7周年のお祝いの会があわせて開催されました。

30余名の参加者で、滋賀県甲賀市、三木市、柏原市、泉南市、大阪市など遠くから来られ、当日は、コンゴからマリア会副総長マリさまもご参加くださいました。お祝いのテーブルには、トウモロコシケーキ、にんじんチョコケーキ、串カツ、サラダ、サンドイッチ、が並べられ、そのほか、お寿司、お菓子などがふるまわれました。交流会では、ポルトガル語と日本語が飛び交い、楽しい時をすごしました。最後に、マリ副総長さまとイポルト神父さまを囲み、全員で記念写真を撮り、再会を約束して祝いの会を終了しました。

ポルトガル語ミサは毎月第二日曜日の11時からおこなわれています。  
信徒のみなさんの多くのご参加をおまちしています。

(写真・文責 国際協力委員会 A.K.)



## <<クリスマスコンサート 12月23日(土)14時~>>

今年も恒例のクリスマスコンサートが開催されました。今回で14回目です！  
暖冬との予報に反して寒い日が続いていましたが、良く晴れたお天気に恵まれました。



初めはカルメン FOUR の皆さんによる歌と演奏です。  
マイクを使わず圧巻の音量で「諸人こぞりて」や「O Holy Night」を歌いあげられました。  
ピアノとフルート、チェロによるアヴェ・マリアが心に響きます。



「今日は祈りの曲ばかりです。」と選曲にも工夫をしていただきました。

カルメン FOUR さんは今年の4月に高齢者施設などへの訪問演奏をと結成されたのですが、コロナウイルスの影響で未だ果たせず、今日が待ちに待ったデビューとなったそうです。

皆さんの喜びが私達にも伝わってくる、そんな素敵な時間となりました。



次に、先日イタリアから戻られたばかりのマンニ神父様(聖ザベリオ宣教会)からクリスマスのお話です。  
戦争の影響で飛行ルートが変更されており、大変な長旅となったそうです。

**神様はイエスを幼子として世にお送りくださいました。幼子は弱さの象徴です。  
神様は私たちに命を与えてくださいます。私たち人間はその命を大切に守り、  
育てていかなければなりません。争いではなく平和を選ばよだけです。**

良いクリスマスをお過ごしください。と結ばれました。



そしていよいよ宮崎先生の登場です。

バッハの「主よ、人の望みのよるこびよ」の美しい旋律が聖堂に染みわたります。  
ベートーベンの「月光」の重厚で激しい楽曲が心を揺さぶります。



「同じ曲でも演奏する場所、雰囲気やお客さんによって違ってくるのです。それが生演奏の良さですね。」と観客と呼応するように次々と名曲を奏でられました。

その生演奏の醍醐味の一つが、観客からのリクエストメドレーコーナーです。

「アルプスの少女ハイジ」から「ホワイトクリスマス」「歓喜の歌」等、全くジャンルの異なる十数曲を即興で自然に、数分のメドレーにまとめ上げられました。その技量の高さに今年も圧倒されつつ、曲の変わり目には「あっ、この曲に変わった！私のリクエスト！」とニコツとしてしまいますね。

最後は「翼をください」「しずけき」を全員で大声で合唱し、今年のコンサートも大盛況の内に閉会となりました。

演奏者の方々にも観客の皆さんにも、そしてスタッフにも笑顔が溢れています。これで500円/人とは安い！(笑)

世の中には戦争や環境問題、物価高騰と課題は沢山ありますが、1人1人が平和を選び取ることで、また新しい一年が素晴らしい年となるように導いていきましょう！ Merry Christmas! ★



